

まちづくりセミナー

地域経済循環で街は強くなる

今後も地域が社会インフラやコミュニティを維持していくには、地域が自ら稼ぎ、地域でお金が回る（地域経済循環）仕組みを作っていくことが重要です。本セミナーでは、まちづくり分野の第一人者・実践者の方々を交え、地域の「稼ぎ」・地域経済循環を高めるまちづくりのポイントについて議論します。

日時：2020年1月22日（水）13:30～16:40（開場 13:15）

場所：東京都中央区日本橋茅場町1-6-10 日幸茅場町ビル 7F TKP スター貸会議室 茅場町

東京メトロ日比谷線 茅場町駅 徒歩2分、日本橋（東京都）駅 徒歩7分

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/st-kayabacho/access/>

定員：85名（先着順）

対象：まちづくり事業に関心のある、会社員・公務員・起業家・学生などなたでも歓迎です。

参加費：無料

主催：トヨタ財団研究助成プログラム
「地域活性化事業の地域内経済循環評価手法の確立と評価ツールの開発 - 自治体の新たな文化を創造する -」プロジェクト

後援：一般社団法人日本まちやど協会、
一般社団法人ローカルグッド創成支援機構

お申込：WEBサイトからお申込みください。

<https://chiikikeizaijuncan.peatix.com/>



<プログラム>

- 13:35～14:20 地域経済循環を図るドイツの都市計画・まちづくり
村上敦氏（一般社団法人クラブヴォーバン代表、在独環境コンサルタント）
- 14:20～14:55 地域でもてなし地域で稼ぐ「まちやど」（分散型ホテル）
宮崎晃吉氏（一般社団法人日本まちやど協会 代表理事）
<休憩 10分>
- 15:05～15:40 再生可能エネルギーと地域新電力で地域にお金を回す
青山英明氏（一般社団法人ローカルグッド創成支援機構 事務局長）
- 15:40～16:15 地域資源が地域循環を引き起こすマーケットとは何か
鈴木美央氏（O+Architecture 主宰）
- 16:15～16:40 地域の稼ぎ・地域経済循環を見える化する
稲垣憲治（京都大学大学院プロジェクト研究員）
- 終了後 懇親会（16時40分頃～18時まで）

*注意事項：当日はスライドのみのペーパーレスで実施します。
資料が必要な方は事前にダウンロードをお願いいたします。
（3日前から申込サイトよりダウンロード可能です。
ただし、当日スライド投影のみの講演者もいます。）



村上敦

一般社団法人 クラブヴォーバン
代表、在独環境コンサルタント



宮崎晃吉

一般社団法人 日本まちやど協会
代表理事



青山英明

一般社団法人 ローカルグッド創成
支援機構 事務局長



鈴木美央

O+Architecture 主宰



稲垣憲治

京都大学大学院プロジェクト研究員

ゼネコン勤務を経て、環境問題を意識し、ドイツ・フライブルクへ留学。フライブルク地方役場建設局に勤務の後、2002年から独立し、ドイツの環境政策、都市政策、エネルギー政策などを日本に紹介。多様なメディアへの寄稿と企画協力、環境関連の調査、自治体/企業へのコンサルティング、講演活動を続ける。

建築家、株式会社 HAGI STUDIO 代表取締役。2011年より独立し建築設計やプロデュースを行うかたわら、東京・谷中を中心に築古のアパートや住宅をリノベーションした飲食、宿泊事業を展開。「最小文化複合施設」HAGISO、「まちやど」hanare、「まちの教室」KLASSなどを設計・運営。

在原発作所、コンサルティング会社を経て、2014年一般社団法人ローカルグッド創成支援機構を創設し、現在、事務局長。2016年からまち未来製作所代表。

設計事務所 Foreign Office Architects Ltd（英国）、慶應義塾大学理工学研究科勤務を経て、2013年より同大学博士後期課程在籍、2017年博士号（工学）取得。現在は建築設計、行政のアドバイザー、マーケットの企画・運営、公共空間の研究などを行う。著書に「マーケットでまちを変える」など。

文部科学省を経て、現在は東京都庁環境局の職員。5か国10都市のエネルギー・まちづくり政策を現地調査。エネルギーやまちづくりへの思いが高じて、業務時間外に京都大学大学院の研究員としても活動中。